

採用
案内
2025

独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education



機構の事業・特色

日本の高等教育を支えています

機構は、教育研究の質を高めるために大学等が行う活動を支援するとともに、高等教育段階における学習成果として授与される学位が適切に認識・評価されるよう努めています。併せて大学等と連携し社会からの期待と信頼に応えられる高等教育の実現を目指しています。

これらの目的を達成するために、機構では学位授与事業、評価事業、施設費貸付・交付事業、質保証連携、助成事業等を実施しています。

学位授与事業

広く社会で行われている高等教育段階の様々な学習の成果を評価し、大学の学部・大学院の修了者と同等の学力を有すると認められる学習者に対して、学位（学士、修士、博士）を授与しています。

日本では法令により、大学と機構のみが学位を授与することができます。

評価事業

大学を始めとした高等教育機関による教育研究活動の質が向上するよう大学等への第三者評価を行っています。

事業の実施に当たっては、大学関係者等の参画を得て高い専門性による客観的な評価を行っており、大学等が相互に質を高められるようにしています。

施設費貸付・交付事業

国立大学法人、大学共同利用機関法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構の施設整備等に必要な資金の貸付・交付等を行っています。

国立大学法人等の施設整備等を安定的に実施し、教育研究環境の整備充実や財務・経営の改善を支援しています。

質保証連携

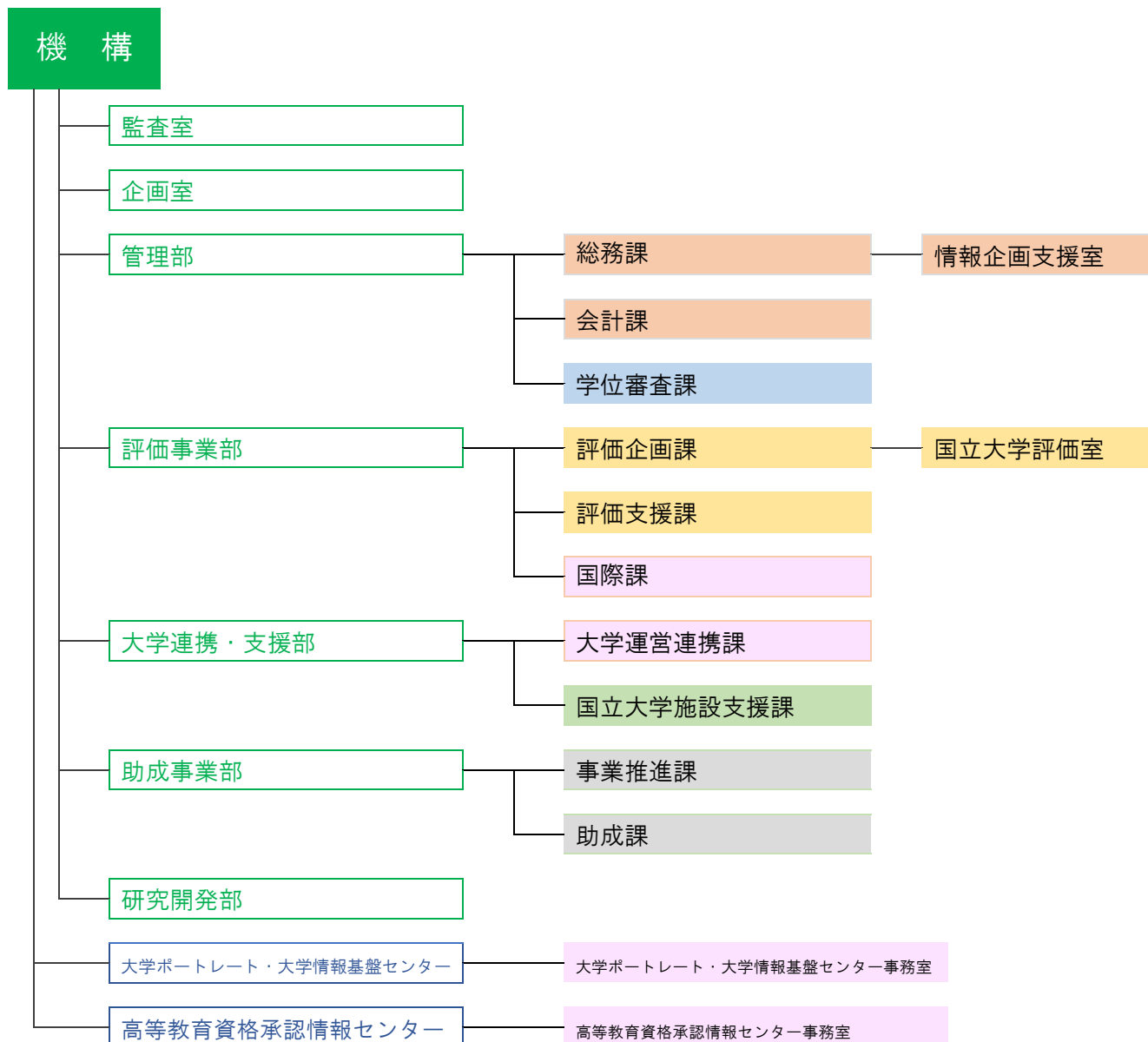
大学における質保証を支援するため、大学等と連携して国公立大学の教育情報を公表・活用する大学ポートレートを運用しています。

また、質保証に関わる人材の能力向上を目的としたプログラムを開発しており、さらに、国内外の質保証機関等と連携・協力した活動にも取り組んでいます。

助成事業

国から交付される補助金により基金を設け、文部科学大臣が定める基本指針に即して助成業務の実施方針を定め、基本指針及び実施方針に基づき、大学や高等専門学校に対して、中長期的な人材育成の観点から特に支援が必要と認められる教育研究の分野の学部等の設置その他組織の変更に必要な資金に充てるための助成金の交付を行います。

組織図



■ 参考情報 ■ 事業内容等、更に詳しい情報を確認されたい方は、こちらをご覧ください。

- 機構概要 <https://www.niad.ac.jp/about/outline.html>
- 大学の評価について <https://www.niad.ac.jp/evaluation/>
- 学位授与について https://www.niad.ac.jp/n_gakui/
- 国際事業について <https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/>
- 大学の教育情報の公表・活用について <https://portraits.niad.ac.jp/>
- 国立大学の運営基盤強化促進、施設費貸付・交付について <https://www.niad.ac.jp/support/>
- 大学・高専機能強化支援事業について <https://www.niad.ac.jp/josei/>

機構が求める人材

チャレンジ精神旺盛

×

意欲のある方

○日本の大学を世界で通用するよう支援したい方

○教育環境の整備充実に関わりたい方

○変革を恐れず、新しいことにチャレンジできる方

etc.

機構長メッセージ

我が国の高等教育の更なる発展のために

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構は、平成28年4月に大学評価・学位授与機構と国立大学財務・経営センターが統合し設立されました。

当機構は、大学等高等教育機関の教育研究活動の質の向上や運営基盤の強化促進、教育研究環境の整備充実を支援するとともに、多様な高等教育の学習機会の発展に寄与することを目的として活動しており、設立以来、国立大学等への施設費貸付・交付、認証評価、国立大学教育研究評価、国公立大学等の教育情報の公表、これらの業務に関連する調査研究なども含め、高等教育に係る社会的要請の高い課題に果敢に取り組み、我が国の政策目標達成に欠くことのできない法人として、高等教育の発展の一翼を担い続けています。



機構長 服部 泰直

現在、我が国の社会はあらゆる側面において目まぐるしく変化し、高等教育も大きな転換期を迎えています。

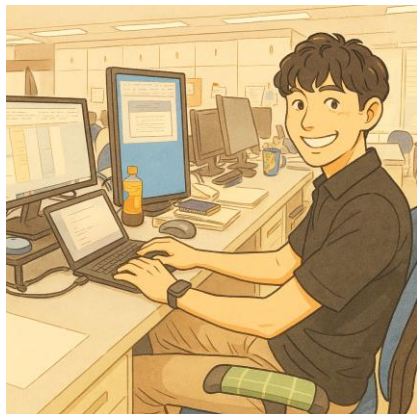
こうした状況の中、当機構では、デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向け、当該成長分野の学部等の設置促進を目的とした大学・高専機能強化支援事業を令和5年度から開始するなど、当機構が果たすべき役割は、一層大きなものとなってきています。

業務の詳しい内容等は、本採用案内やウェブサイトをご覧くださいと思いますが、当機構にはこれらの業務を通じて、我が国の高等教育の更なる発展に貢献できる多様なフィールドが用意されています。また、大学等の教育研究活動の現在の課題や管理運営上の課題、さらには国内外の高等教育の質の確保に向けた動向など、幅広い知識、経験を得ることも可能です。

私たちは、新たな視点・角度から意欲を持って職務に取り組む人材を求めています。

皆さんの応募を強く期待しております。

先輩職員の仕事紹介



評価事業部評価支援課

法科大学院評価係長

(経歴) H24. 8 長崎大学 (採用)
H28. 4 文部科学省 (行政実務研修)
H31. 4 文部科学省
R 3. 4 長崎大学
R 4. 4 評価事業部評価支援課
R 5. 4 助成事業部助成課
R 7. 4 評価事業部評価支援課

現在担当している仕事

大学等の教育研究活動等の状況について評価を行う認証評価業務を行っており、その中でも法科大学院の分野別認証評価に関する業務を行っています。

仕事のやりがいや面白さ

もともと大学と関わる仕事がしたいと考えていたのので、認証評価業務を通して受審大学と作業を進める中で自分の行っている業務が高等教育に貢献ができていることを日頃から体感することができ、非常にやりがいを感じます。実際に受審大学へ出向く訪問調査では、現場の声を直に感じるできるので、自分自身とても勉強になることが多いです。

どのような人といっしょに働きたいか

今の部署では、機構の先生方との調整や大学の担当者とのやり取りが基本となりますので、人とコミュニケーションをとることに抵抗がなく、前向きな気持ちで仕事ができる方と一緒に働きたいです。

また、評価業務を行う中で細かい作業が多くなりますので、何事にも粘り強く取り組むことができる方は向いていると思います。

機構を志望する後輩へ一言！

今の部署の組織目標にも掲げられているのですが、よりよい業務を目指すための業務効率化への取組や研修制度をはじめ、休暇の取得や在宅勤務などのワークライフバランスの実現に向けた環境が整っており、とても働きやすい職場だと思います。機構は優しい方ばかりなので、安心して働くことができると思います。

ある1日のスケジュール

9:00	<u>出勤</u> メールやチャットの確認を行い、対応が必要なことがあれば対応します。 また、1日のスケジュールを確認します。
10:00	<u>会議開始</u> 担当している会議の運営をします。
12:00	<u>昼休み</u>
13:00	<u>研究開発部教員との打合せ</u> 次回の会議資料についての相談や、進行の確認を行います。
15:00	<u>評価作業に関わる業務</u> 大学からの問合せ対応や、提出書類の確認作業を行います。
17:45	<u>退勤</u> 退勤前には翌日の業務やスケジュールの整理をします。

私はこれでリフレッシュ！

登山が好きなので、休日は仲間と登山に出かけたり、長期休暇が取得できるときは海外旅行に出かけたりと、アウトドアな休日を過ごしてリフレッシュしています。
また、お酒も好きなので、週末には友人と飲みに出かけることが多いです。

先輩職員の仕事紹介



評価事業部評価企画課国立大学評価室 教育研究評価第1係員

(経歴) R2.11 管理部学位審査課(採用)

R6. 4 文部科学省(行政実務研修)

R7. 4 評価事業部評価企画課国立大学評価室

現在担当している仕事

機構で行う評価事業のうち、国立大学法人等の教育・研究に関する評価の業務を担当しています。主な業務内容は、各法人への評価実務に関わる各種照会や説明会・研修会の開催案内及び当日の運営、評価事業に関わる会議の運営、法人からの問い合わせ対応等です。各業務を実施するにあたり、国立大学法人等の評価担当者や外部委員の先生方、機構内の教員等、多方面の関係者と連絡調整を行います。

仕事のやりがいや面白さ

法人評価業務を通して、国立大学法人等の教育の質向上、ひいては日本の高等教育の発展に携わることができることに魅力を感じています。また、会議の運営を行う中で評価担当委員の先生方の「評価者」としての視点や高等教育に対する思いに触れることができる点も自らの業務に対する姿勢ややりがいに繋がっています。

今後の目標や将来のイメージ像

まずは国立大学法人等の教育・研究に関する評価に関して深く見識や知見を積んでいきたいです。国立大学や各研究機関を取り巻く環境は日々変化しているため、評価機関として各法人の強みや魅力を引き出すことで高等教育の質の向上に貢献したいと考えています。

機構を志望する後輩へ一言！

機構では、学位の授与や大学評価、助成事業など高等教育に関わる様々な事業を行っています。高等教育を軸として多岐に渡る分野に携わりながら、日本の高等教育の質の向上という目標を通じて社会の発展に貢献できることが機構の職員として働く魅力の一つだと思います。

ある1日のスケジュール

- 9:00 出勤
メール及びスケジュールの確認
急を要する依頼や当日中に対応すべき案件について確認した後、1日のスケジュールを立てます。
- 9:30 各国立大学法人等への照会結果の取りまとめ
法人に対して評価実務に関わる照会(大学の学部や研究科等の評価対象に関する照会や説明会の開催案内等)を行います。その後、各法人からの回答結果を取りまとめます。
- 12:00 昼休み
- 13:00 会議運営の準備
評価事業に関わる会議体(国立大学法人教育研究評価委員会)の運営担当として、資料作成や各関係者との連絡調整・打ち合わせ等、会議の円滑な運営に向けた業務を行います。
- 17:45 退勤

私はこれでリフレッシュ！

音楽を聴くことが好きなので、通勤時間には必ず音楽を聴いています。また、年休を利用し、旅行を兼ねて遠方まで好きなアーティストのライブへ足を運ぶこともあります。

先輩職員の仕事紹介



管理部学位審査課

審査支援係員

(経歴) R5. 4 管理部学位審査課 (採用)

現在担当している仕事

学位授与制度のうち、「学士」の学位の審査に関する業務に従事しています。主に、審査担当委員を担当いただいている大学の先生方に学位授与試験で出題される小論文試験問題の作成・採点を依頼する業務や、審査に合格した際に発行される学位記の発送に向けて業者との契約や日程管理等を行う業務を担っています。

仕事のやりがいや面白さ

高等教育段階のさまざまな学習の成果を評価する制度なので、申請者のバックグラウンドもさまざまです。学位取得者に行うアンケートや学位取得者表彰という式典など直接的に思いを伺える機会では学位授与に至るまでの経緯に接することができ、また学位授与証明書の対応では学位取得者のキャリア形成の一助になっていることを実感できます。事業を通じて個々人の自己実現に寄与している手応えを感じうるという点は、この仕事の魅力のひとつではないかと考えます。

職場の雰囲気

学位審査課では、学位授与試験や学位授与の審査に関する会議など課として行う業務があり、系の垣根を越えて一体となって取り組みます。そのため、普段から係内だけでなく関係する他の係との連携を取りやすい環境が醸成されていると思います。

機構を志望する後輩へ一言！

機構の各事業での経験を通じて、高等教育の在り方について新しい角度から捉え直す機会が得られると思います。皆様と一緒に働ける日を心待ちにしています。

ある1日のスケジュール

- | | |
|-------|--|
| 8:30 | <u>出勤、メールチェック・業務確認</u>
朝型で午前中の方が集中できるので、30分早出で出勤して午前の時間を延ばしています。 |
| 9:00 | <u>学位取得者アンケートの集計</u>
学位を取得した方に回答を依頼していたアンケートの締切りが到来していたので集計作業を行います。 |
| 12:00 | <u>昼休み</u> |
| 13:00 | <u>起案資料の作成</u>
学位授与試験の答案の採点を委員に依頼するので、そのときに送る資料の決裁を取るための用意をします。 |
| 15:00 | <u>業務マニュアルの更新</u>
反省点や改善点を踏まえて記載内容等を更新し、今後の同じ業務をより円滑に実施できるようにします。 |
| 17:15 | <u>退勤</u>
プロ野球の中継を見たりしながら、食事の準備などを行っています。 |

私はこれでリフレッシュ！

休日に早めに起きて活動すると得した気分になるので、予定を入れていることが多いです。企画展や野球観戦に行ったり、テニスをして汗を流したり、家で弁当用の作り置きを作ったりしています。有給休暇を取得した際には、テーマパークや旅行に行くこともあります。GWや年末年始などのまとまった休暇の際には、帰省して羽を伸ばしています。

先輩職員の仕事紹介



助成事業部事業推進課

渉外係員

(経歴) R6. 4 助成事業部助成課 (採用)

現在担当している仕事

「大学・高専機能強化支援事業」は、デジタル等の成長分野の学部等の設置等を促進することを目的に、学部再編等やデジタル分野の学科コースの設置・増員を行う大学等に対し、助成金の交付を行っています。このうち、提出された報告書を元に、進捗状況の確認や現地調査等を行う、フォローアップ業務を担当しています。また、選定校同士の連携の促進を目的に、年に一度、「大学等の理系転換・拡充による人材育成機能強化会議」を開催しています。

仕事のやりがいや面白さ

現地調査で実際の授業風景や学生の話を見聞きした時、様々な広告媒体で事業対象校の広報を目にした時など、自身の携わっているものが形となり、社会に繋がっていると実感できたことに特にやりがいを感じました。

今後の目標や将来のイメージ

積極的に知識を吸収し、またスキルを習得することを今後の目標にしています。着任当初、周囲の方々が持つ知識量の多さや技術の高さ、それらの多様さに驚きましたが、その一員になることを将来の目標にしています。

機構を志望する後輩へ一言！

機構の特徴の一つとして、機構はプロパー（機構採用）職員以外にも、大学等から出向されている方も多く働いています。その分、異なる経験を持つ人が集まっていて、興味深い話を聞けることも多いです。自身の部署も他の部署も、話しやすい雰囲気の方が多く印象ですので、相談しやすい環境だと思います。

ある1日のスケジュール

- 9:00 出勤
メールチェック
メールやチャットを確認します。報告書に関する問い合わせ、その後の調査について等、メールで外部の方とやり取りをすることが多いです。
- 12:00 昼休み
ランチに関して、竹橋オフィス周辺はお店が多いので、外に行く時はお店選びで非常に悩みます。お弁当を持参する方もいます。
- 13:15 係内打合せ
特に業務の流れが次の段階に移る時等、確認や説明のために事前に打合せをします。
- 14:30 報告書の確認・集計
報告書について、不備確認の他、AIを活用してデータ収集整理の自動化を図っています。報告書はウェブサイトでも公表しています。
- 17:45 退勤

私の必須アイテム！

工作中はパソコンを見るため、日頃からPC眼鏡を着用しています。

また、長時間座るため、「ふんばるず」という猫背防止のぬいぐるみを愛用したり、ジェルシートクッションについて調べたりしています。

若手職員の声

採用5年目までの職員に
聞いてみました！



機構を志望した理由

- ・学位の授与という形で努力を認められる機構の学位授与事業に興味をもった
- ・学位の授与や認証評価等、機構独自の事業やあまり馴染みのなかった業務に興味があった
- ・各機関単位ではなく、高等教育全体に貢献できるところが魅力的であった
- ・部署異動で多様な業務を経験できること及び高等教育という軸足をもつことの両方に資すると考えたため

機構に就職してよかったと感じたこと

- ・自分が携わっている業務が直接社会や学位授与申請者の方々のキャリア等に良い影響を与えていることを実感できたこと
- ・マスメディア等での報道や、大学等の教職員とのやり取りを通じて、高等教育全体に関わる事業を行っていると感じたとき（自らの仕事がかたちとなっていることの達成感）
- ・全国的な規模で高等教育に関して扱っている組織であるので、日本の高等教育の状況について俯瞰的な目を養うことができること
- ・「この方の下で働きたい」と思えるような尊敬できる方に囲まれて、日々の業務に携われていること
- ・海外の文献から情報収集したり、海外の有識者と関わったりと、職務を通じて学びを深められ、自分自身に新たな専門分野ができたこと
- ・特任事務職員や他大学からの出向者が多く、多様なキャリアの人が在籍しているので、これまでの経験など様々な話を聞くことができ刺激になる

就職前後でギャップを感じた、イメージ通りだったこと〈ギャップ〉

- ・ウェブ会議やチャット等、オンラインツールの利用が活発で、DX化が進んでいた
- ・1年目の早い段階から担当者として意見を求められ、進め方も含めしっかりと当該業務を任せてもらえた
- ・公務員に準じる業種ということで堅そうなイメージがあったが、お洒落な方も多い

〈イメージ通り〉

- ・出向者の方々が半数近くを占めるため、職場の雰囲気として風通しが良い点
- ・機構外の方に組織のイメージを持ってもらいづらい（親類等に組織名や業務内容を説明しても通じない）

ワークライフバランスについて感じていること

- ・リフレッシュ休暇制度や年次休暇の取得目標の設定などにより、休暇を取得しやすい環境であり、周囲も休暇取得への意欲が高い
- ・竹橋オフィス周辺にはお店も充実しており、時として午後に休暇を取得して神保町の古書店や飲食店を巡ることもある
- ・超過勤務の多い時期、少ない時期がはっきりしているため、休暇の予定を立てやすく、退勤後も自分の時間を持つことができる
- ・育児等の特別な事情が無くても早出遅出勤務ができるので、通勤・通学ラッシュを避けて通勤できるなど、生活スタイルに合わせて業務を進められる



研修・自己啓発支援

機構では、採用後のスキルアップを図るため独自又は他機関主催の研修や、自発的な能力開発を助成する制度を整備しており、自ら学ぶ意欲のある職員を支援しています。

新任職員研修

新規採用者や新任の出向者を対象に、機構の事業内容の説明のほか、機構で働く上で必要な知識の習得を目的とした研修を行っています。

パソコン研修

総務省の研修を利用した e-ラーニングを四半期ごとに実施しています。Excel や情報リテラシー、情報セキュリティ、個人情報保護等に関する研修を受講できます。

放送大学研修

放送大学の授業科目のうち、大学マネジメントや簿記などの職務遂行上関連があると認められる科目を受講できます。

語学研修

機構職員として必要な英語能力を培っていくため、語学研修を実施しています。

大学等の質保証に関する研修

機構が実施する大学評価、学位授与等の高等教育の質保証に係る業務に関する知識の獲得を目的とした職員研修を行っています。

他機関主催の研修

他機関主催の初任職員研修、中堅職員研修、係長研修等の階層別研修を受講できます。このほか、会計事務研修や人事・労務、広報、産学連携等の専門分野別研修にも参加できます。

研修等の助成

職員の自発的な能力開発活動を奨励するため、職員が自主的に行う研修（資格取得のための講座受講等）に対して一部費用を助成する制度があります。スキルアップを支援します。

その他

- ・ 国立大学法人等への人事交流
- ・ 文部科学省への研修（行政実務研修）

多様な働き方への取り組み

機構では、すべての職員が働きやすい職場づくりを推進することによって、職員がその能力を十分に発揮できるよう取り組んでいます。

主な取り組みの内容として、妊娠、出産、育児、介護支援に関する制度の整備・充実や所定外労働時間の縮減、定時退勤の推進、年次有給休暇・連続休暇の取得促進等を実施しています。

取り組みの一例

在宅勤務

職員の事情や勤務の状況に応じて、在宅で勤務する日を設けることができます。

育児休業／介護休業

子が3歳になるまで（介護休業は常時介護を必要とする状態の家族の介護のため）、一定期間休業することができます。

リフレッシュ休暇

心身の健康の維持及び増進等のため、年次休暇とは別に一事業年度に4日間（休日を除き原則連続）取得できます。

早出遅出勤務

職員の事情や勤務の状況に応じて、始業・終業時刻を繰り上げ又は繰り下げて勤務することができます。

子の看護等休暇

小学校3年生までの子を養育する場合、年5日の看護等休暇が認められます（対象となる子が2人以上の場合は10日）。

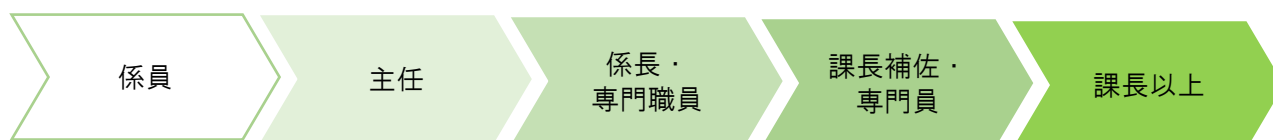
その他各種制度／休暇など

ほかにも育児短時間勤務制度（所定勤務時間を短縮して勤務）や結婚休暇、永年勤続者休暇など、各種支援制度、休暇があります。

キャリアパス

概ね3年のサイクルで人事異動により、複数の部署を経験します。また、本人の希望等により、人事交流で近隣の国立大学法人等へ出向することもあります。

機構では、「事務系職員人材育成ポリシー」を策定し、プロフェッショナルな職員の育成に計画的・組織的に取り組んでいます。



この図は一例です

アクセス

小平本館
(一橋大学小平国際キャンパス内)



〒187-8587
東京都小平市学園西町 1-29-1
最寄駅：一橋学園駅（西武多摩湖線）

竹橋オフィス
(学術総合センター 10F・11F)



〒101-8438
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
最寄駅：竹橋駅（東京メトロ東西線）

お問合せ先：

管理部総務課 採用担当

〒187-8587 東京都小平市学園西町 1-29-1

TEL 042-307-1500（代表）

E-MAIL saiyo@niad.ac.jp

URL <https://www.niad.ac.jp/>